

令和4年9月14日
国土交通省 中部地方整備局令和4年度 中部地方整備局入札監視委員会
総会及び第一部会第1回定例会議を開催しました

－ 議事及び審議概要を公表します －

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱により設置された学識研究者等で構成する第三者機関であり、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

総会については以下のとおりです。

また、第一部会第1回定例会議については、令和3年度下半期(令和3年10月から令和4年3月まで)に発注した工事等の中から抽出した8件の事案について審議を行いました。内容については「表1」のとおりです。

○ 令和4年度 中部地方整備局入札監視委員会 総会

- 開催日時及び場所
日時：令和4年8月5日(金) 14時00分～14時10分
場所：名古屋合同庁舎第二号館 6階 中部地方整備局会議室
- 議事概要
(1) 委員長の選出及び委員長代理の指名
「3. 委員名簿」のとおり、委員の互選により委員長が選出され、委員長により委員長代理が指名されました。
(2) 委員の所属部会の指名
「3. 委員名簿」の()書のとおり、委員長により委員の所属部会が指名されました。
- 委員名簿 (委員は五十音順)

委員長 (第一部会)	こじま じゅん 小島 淳	名古屋大学 大学院 法学研究科 教授
委員長代理 (第二部会)	かわしま たかのり 川嶋 隆憲	名古屋大学 大学院 法学研究科 教授
委員 (第一部会)	なかすじ ゆきこ 中筋 由紀子	愛知教育大学 教育ガバナンス講座 教授
委員 (第一部会)	はぶ みきこ 土生 未来子	弁護士
委員 (第一部会)	ふじた もとひろ 藤田 素弘	名古屋工業大学 大学院 工学研究科 教授
委員 (第一部会)	みずの まさる 水野 大	公認会計士
委員 (第二部会)	なかいけんたろう 中井健太郎	名古屋大学 大学院 工学研究科 准教授
委員 (第二部会)	よしの まもる 吉野 守	弁護士
- 配布先
中部地方整備局記者クラブ
- 問い合わせ先
中部地方整備局
主任監査官 鈴木 秀一 TEL052-953-8113

表 1

令和4年度 中部地方整備局入札監視委員会
第一部会 第1回定例会議審議概要

開催日及び場所	令和4年8月5日（金） 14時15分～16時00分 名古屋合同庁舎第二号館 3階 中部地方整備局大会議室	
部会長の選出及び部会長代理の指名	委員の互選により部会長が選出され、部会長により部会長代理が指名されました。	
委員	部会長：小島 淳（名古屋大学 大学院 法学研究科 教授） 部会長代理：藤田 素弘（名古屋工業大学 大学院 工学研究科 教授） 委員：中筋 由紀子（愛知教育大学 教育ガバナンス講座 教授） 土生 未来子（弁護士） 水野 大（公認会計士） （委員は五十音順）	
審議対象期間	令和3年10月1日～令和4年3月31日	
抽出案件	総件数 8 件	審議案件は表2のとおり
【工事】		
一般競争入札方式 （ W T O ）	1 件	
一般競争入札方式 （ 拡 大 ）	1 件	
随 意 契 約	1 件	
【建設コンサルタント業務等】		
一般競争入札方式	1 件	
指名競争入札方式	1 件	
簡易公募型 プロポーザル方式	1 件	
【役務の提供等及び物品の製造等】		
一般競争入札方式	1 件	
一般競争入札方式 （ W T O ）	1 件	
委員からの 意見・質問、 それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	表3のとおり	表3のとおり
委員会による 意見の具申 又は勧告の内容	な し	

表 2

抽出事案一覧表

(期間:令和3年10月1日～令和4年3月31日)

【工事】

番号	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
1	(一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事) 令和3年度 東海環状北勢第一高架橋4鋼上部工事	鋼橋上部	21	16	R4.1.20	日立造船(株)	1,098,460	92.26	北勢国道事務所(本官契約)
2	(一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの) 令和3年度 1号島田金谷島田第1高架橋PC上部工事	プレストレスト・コンクリート	7	7	R3.10.19	川田建設(株)	335,500	90.52	浜松河川国道事務所(分任官契約)
3	(随意契約方式) 令和3年度 新丸山ダム常用洪水吐放流設備工事	機械設備	-	-	R4.3.23	令和3年度新丸山ダム常用洪水吐放流設備工事IHI・日立特定建設工事共同企業体	7,876,000	99.79	新丸山ダム工事事務所(本官契約)

【建設コンサルタント業務等】

番号	業務名	業種区分	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
4	(一般競争入札方式) 令和3年度 中部地整管内道路管理用点群データ計測業務	測量	6	6	R4.3.25	(株)パスコ	23,991	79.98	中部技術事務所(分任官契約)
5	(指名競争入札方式) 令和3年度 西知多道路地質調査業務	地質調査	13	6	R4.3.24	富士開発(株)	33,264	83.01	名四国道事務所(分任官契約)
6	(簡易公募型プロポーザル方式) 令和3年度 木曽川上流河川環境事業計画検討業務	土木コンサル	5	5	R4.1.20	(株)東京建設コンサルタント	29,689	99.19	木曽川上流河川事務所(分任官契約)

【役務の提供等及び物品の製造等】

番号	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
7	(一般競争入札方式) 令和3年度 木曽川下流部水質監視分析業務	役務の提供等	4	3	R4.3.23	エヌエス環境(株)	13,090	59.23	木曽川下流河川事務所(分任官契約)
8	ヘリコプター1式購入	物品の製造又は販売	3	3	R4.2.28	(株)SUBARU	2,210,868	71.58	防災室(本官契約)

表 3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

(1) 報 告	
①工事に係る入札方式別発注工事一覧 ②建設コンサルタント業務等に係る入札方式別発注業務一覧 ③役務の提供等及び物品の製造等に係る入札方式別発注業務一覧 ④談合情報等の対応状況 ⑤指名停止等の運用状況一覧表 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 ⑧一者応札の発生状況 ⑨不調・不落の発生状況 ⑩高落札率の発生状況	
意見・質問	回 答
なし	

(2) 審 議		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び工事種別等を考慮したうえで抽出したものである。		
抽出案件名	意見・質問	回 答
1. 令和3年度 東海環状北勢第一高架橋4鋼上部工事	評価点数の配分で、施工体制と技術提案の点数は、どのように決められているのか。	施工体制の評価は、品質確保の実効性で15点、施工体制確保の確実性で15点の30点を付与している。 技術提案の評価は、最大60点としている。
	評価項目の止水性向上対策として、どのような技術提案がされているのか。	具体的な技術提案そのものについては、企業の秘密であるので詳細にはお答えできないが、今回のテーマが、コンクリート打継部からの水の浸入によって鋼板、鉄筋が錆びないようにという、床版の耐久性向上であったため、止水対策の提案があった。
	技術提案は、各企業で全然違う方法なのか。大体同じになりそうな気がするが、点数はバラバラである。点数が高い者は他者より錆びない提案になっているのか。	入札説明書に記載のあるとおり、提案内容が、「課題と目的」「効果とその根拠」のポイントをとらえ、具体的な仕様が記載された提案について、優位性が高いと認められる場合は高く評価している。
2. 令和3年度 1号島田金谷島田第1高架橋PC上部工事	参加者間の評価点は接近しているが、どのような違いがあったのか。	主に差がついたところは、技術者の能力、企業の能力であった。
	企業の能力の差は、どんな違いになるのか。	これまで経験している同種や類似工事の工事成績、表彰の実績といったものを評価している。
	企業の能力の評価項目に表彰があるが、工事というのは後から必ず評価をするのか。	工事が終わった後には評価を必ず行い、点数づけをしている。点数が高い企業については、局長や事務所長から表彰を行うという制度があり、後の入札契約に参加する際の評価項目になっている。

抽出案件名	意見・質問	回 答
3. 令和3年度 新丸山ダム常用洪水吐放流設備工事	本件は随意契約で、かつ金額が大きい。随意契約にした理由書を確認すると、会計法29条の3第4号と予決令の102条の4第3号というのが挙げられていて、契約の性質または目的が競争を許さない場合、あるいは緊急の必要により競争に付することができない場合に随意契約によることができる、という形になっている。 今回の場合は、契約の性質または目的が競争を許さない場合に当たるという理解でよいのか。	そのとおりである。
4. 令和3年度 中部地整管内道路管理用点群データ計測業務	技術提案書の評価が最大30点と配点が多く、これで全体の評価が決まると思えるが、具体的にどんなことをチェックしているのか。	入札説明書に記載のあるとおり、技術提案書の中で、「課題対応方針」「実施手順」「品質向上」「現地体制」について評価している。
	入札価格を見ると、4者が調査基準価格と同額だが、調査基準価格は推測できるのか。	本業務は積算基準がないので、応札者から見積りを徴収している。徴収した見積りから採用した歩掛かりを公表しているため、基本的には予定価格は推測できる。
5. 令和3年度 西知多道路地質調査業務	入札価格を見ると、1者が調査基準価格と同額、もう1者が予定価格と同額だが、これはたまたまそうなったのか。	どういう意図で入札されたかは、私どもではわからない。公表されている歩掛かりで積算できるので、その中で各者が入札金額を決められたと考える。
	調査基準価格や予定価格は、ある程度推測は可能ということか。	推測は可能である。
	その一方で、入札無効や予定価格超過の者もいるのはなぜか。	地域の企業なので、体力の差もあると思われるし、公表の歩掛かりどおりにはできない企業もいるのではないかと。
	不参加、辞退、無効の違いは何か。	指名時において、指名業者に受注意思の確認を行い、「受注意思なし」と表明した者は【不参加】、「受注意思あり」と表明したのち、入札書の提出を取り止めた者は【辞退】、調査基準価格未満の価格で入札し、発注者より、「低入札価格調査に該当した場合の受注者の義務」として、担当技術者の増員、配置予定業務管理者の手持ち業務量の制限、品質証明書の提出、再委託額の制限の実施の可否を求められ、「実施否」と回答した者は【無効】の取扱を行っている。
6. 令和3年度 木曾川上流河川環境事業計画検討業務	この業務は、参加資格に地域要件が無いが、何故か。	本業務は、内容が技術的に高度で専門的な技術が要求される業務のため、提出された技術提案に基づいて仕様を作成することにより優れた成果が期待できることから、より多くの参加が可能となるよう、地域要件は応募要件としていない。
7. 令和3年度 木曾川下流部水質監視分析業務	落札者は、同種業務で過去に何回も受注している。この者が独占しているような感じで、競争がなくなっているのではないかと。	ここ数年、今回の落札者が受注しているが、一般競争で複数者が参加している。今回の業務についても、4者で入札を行っており、競争性については確保されていると認識している。
	ずっと同じことをやっているのだから価格も安く抑えられ、結局ずっとこの者が受注することになってしまうのではないかとと思うが、そのことは何か問題はないのか。	安い価格で業務を実施していただけないということ、受注に関しては問題と認識していない。業務の成果としても、特段問題は生じていない。
	入札は調査基準価格と予定価格の中で勝負するものと思うが、今回落札できなかった者は、落札額が調査基準価格よりも低い結果になる可能性があるということ、認識した上で入札しているということ、落札率は公表しているのか。	入札結果は公表しているため、認識していると思う。

抽出案件名	意見・質問	回 答
8. ヘリコプター1式購入	英文の説明がついているが、海外の者も参加可能ということか。	参加可能である。
	参加資格で、アフターサービス・メンテナンス体制があるが、アフターサービスもメンテナンスも20年やるという前提なのか。	防災ヘリということで、緊急時に飛ばなければならない性質のものなので、メンテナンスはしっかり対応できる体制が必要だと考えており、運航期間中はメンテナンスの体制を整えてもらうことを考えている。
	20年のアフターサービスつきで、この金額なのか。無料なのか。	運用上は20年を目安に更新ということで、この機体を使っている間はメンテナンス体制を整えていただく、そういった体制も含めての金額である。部品などの交換費用は発生する。車の整備と同じで、整備費用は発生する。
	参加資格を東海・北陸地域に限っている。性能の高いものを求めるのであれば、全国あるいはグローバルに求めてもいいと思うが、地域振興みたいなものもあり、東海・北陸に限っているのか。	希望する地域ごとに有効な入札参加資格となっており、東海・北陸地域の認定を受けている者であることを入札参加の要件としている。東京の企業であっても、東海・北陸地域での入札に参加を希望する場合は、東海・北陸地域の認定を受ければ、入札に参加することができる。企業がどこの地域の入札に参加したいかを申請し、その地域の認定を受ける仕組みとなっている。